

千葉市感染症発生動向調査情報

2021年 第3週 (1/18-1/24) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		3週	2週	1週	53週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	18	17	17
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	27	27
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	1/18-1/24	1/11-1/17	1/4-1/10	12/28-1/3	1/11-1/17
			3週	2週	1週	53週	2週
小児科	RSウイルス感染症		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	咽頭結膜熱		0 0.00	1 0.06	1 0.06	0 0.00	15 0.11
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4 0.22	3 0.17	5 0.29	1 0.06	64 0.49
	感染性胃腸炎		26 1.44	19 1.06	26 1.53	5 0.29	206 1.57
	水痘		0 0.00	1 0.06	2 0.12	1 0.06	21 0.16
	手足口病		1 0.06	1 0.06	0 0.00	0 0.00	5 0.04
	伝染性紅斑		1 0.06	1 0.06	0 0.00	1 0.06	2 0.02
	突発性発しん		4 0.22	12 0.67	9 0.53	4 0.24	44 0.34
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00	0 0.00
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00	5 0.04
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	7 0.26	3 0.11	3 0.01
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		0 0.00	0 0.00	5 1.00	1 0.20	12 0.35
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(455件)

※新型コロナウイルス感染症452件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	80歳代	病原体の分離・同定	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
クロイツフェルト・ヤコブ病	男性	40歳代	脳神経症状の診断、 脳波(PSD)の検出	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代～90歳代	病原体遺伝子の検出等

・第3週は、結核1件(8)、クロイツフェルト・ヤコブ病1件(1)、梅毒1件(4)、新型コロナウイルス感染症452件(1632)の発生届があった。

※ ()内は2021年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第3週のコメント

調査対象の全ての感染症において、過去10年の同時期と比べると少ないか発生報告がなかった。

＜クロイツフェルト・ヤコブ病＞

第3週にクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の届出が1件ありました。

CJDは、脳組織の海綿状変性を特徴とする致死性の疾患です。

神経難病の一つで、抑うつ、不安などの神経症状で始まり、進行性認知症、運動失調を呈し、発症後1年から2年で全身衰弱、呼吸不全、肺炎などで死亡します。感染因子は核酸を持たない感染性のある異常プリオン蛋白(蛋白質性感染粒子)と考えられており、その発症機序から原因不明の孤発性プリオン病、プリオン蛋白遺伝子変異による遺伝性プリオン病、他からのプリオン感染による感染性プリオン病に大別されています。

プリオン病の約8割を占める孤発性プリオン病は、発症年齢は平均68歳で男女差はありません。感染性プリオン病には医原性と変異型があり、1996年に英国で初めて患者が報告され、牛の海綿状脳症(BSE)との関係が指摘されて世界中をパニックに陥れたのは変異型CJDでした。

全国では2011年から2020年の10年間に、年間100件から200件程度の発生がありました。2021年第2週時点での全国の届出累積数は6件で、静岡県が最も多くなっています。千葉県での発生報告はありません。

千葉市では、2011年から2021年第3週までに11件の報告がありました。全て孤発性プリオン病です。2017年までは隔年で1件の報告がありましたが、以降は連続して発生報告があります(図1)。男性6件、女性5件で、年齢は40歳以上、年齢中央値は72歳となっています(図2)。

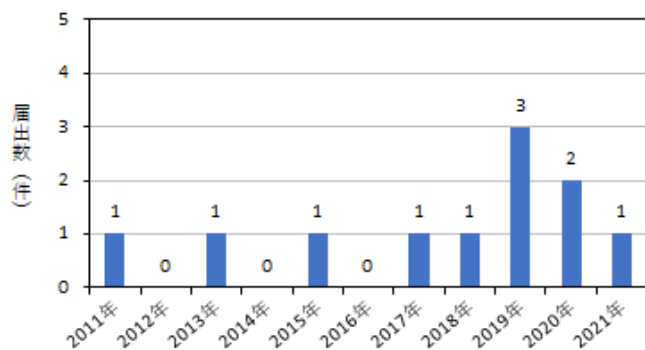


図1 過去10年の発生届出数の推移
(2011年-2021年 n=11)

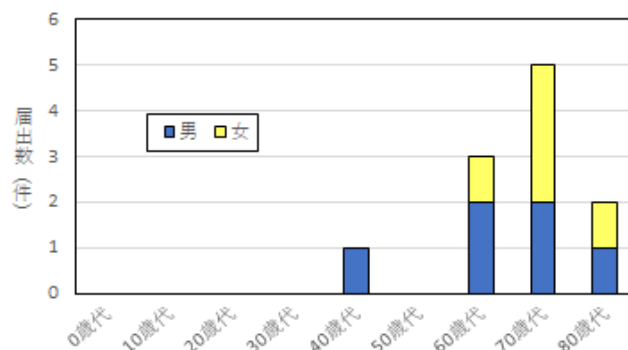


図2 性別年齢階級別
(2011年-2021年 n=11)